

■ SBT認定取得の目的

1. 「環境長期ビジョン」達成への社内外に対する意欲表明
2. サプライチェーンを巻き込み、連携を牽引
⇒ 今後、TCFDへ賛同することでも社会の牽引的役割を実践

■ 経営戦略における気候変動課題の位置づけ

1 統合経営(ESG視点)を強化

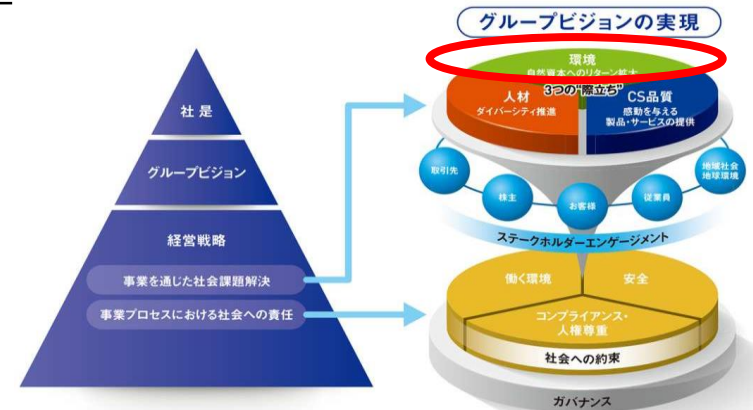
- ・ もともと「環境」は「3つの際立ち」のひとつ
- ・ 経営理念体系とCSR概念図を統合 (2017~)
- ・ 経営戦略部とCSR推進部を統合 (2017~)

2 「環境長期ビジョン2030」達成を通じて事業拡大を図る

- ・ 環境貢献製品※の拡大
→地球環境へ貢献 → エコロジーと
→事業拡大に直結 → エコノミーの両立
※お客様使用段階でGHG削減に高く貢献する製品
- ・ 環境負荷の低減
→サプライチェーンとの協働が必須

経営理念体系(左)とCSR概念図(右)を統合

積水化学グループのCSR



環境長期ビジョン2030



■ SBT宣言内容

GHG排出量削減目標

化学セクター
世界初

Scope 1+2

2030年度に▲26%（13年度比）

Scope 3
（サプライ
チェーン）

2030年度に▲27%（16年度比）

購入した原材料

2030年に▲20%（13年度比）

販売した製品の使用

2030年に▲50%（13年度比）

■ 実践とモニタリング

1 実効力向上のための施策推進

- ・ 環境貢献投資促進策（社内カーボン取引）
- ・ 温暖化貢献優秀賞（社長表彰）

【KPI】自然資本へのリターン率（GHG削減含む）

- ・ **COP24：日本公式イベントにて紹介予定**

2 サプライチェーンへの取り組み

- ・ 原材料メーカーへの働きかけと支援（現状把握）

3 事業・製品による貢献拡大

- ・ 気候変動の緩和 と 適応ビジネスの拡大
- ・ **COP23：適応事業事例として紹介**
- ・ 「環境・エネルギー」関連テーマの新規技術・製品の開発

【KPI】環境貢献製品の登録件数と売上高比率

